



みなさまには、平素より京都銀行をお引き立ていただき、まことにありがとうございます。

さて、平成29年度のが国経済は、低金利・低インフレの適温経済を背景に海外経済の回復とともに輸出が好調に推移したほか、個人消費にも持ち直しの動きが加わり、緩やかに拡大する展開となりました。この間、企業部門では生産活動が堅調で業績が好調に推移し、設備投資も伸長いたしました。一方、個人消費は根強い節約志向を残しつつも、雇用・所得環境の改善で耐久消費財の買い替えが進んだほか、好調なインバウンド消費が全体

を底上げしました。こうした回復の動きが持続する半面、年明け以降は米国金融市場の混乱を発端に一転して円高・株安が進行したほか、原材料価格の上昇や人手不足の深刻化、さらには米国での保護主義の高まりなどの懸念材料を抱える中で、期を終えることとなりました。

金融機関を取り巻く事業環境は、金融緩和政策による利回り低下の長期化、フィンテックを駆使した異業種からの参入など一段と厳しさを増しております。しかし、その一方で個人のお客さまの資産形成に関するご相談やより便利な決済サービスを求められる機会、企業のお客さまの販路拡大・海外進出に資するサポートあるいは事業承継・M&Aなどに関する情報提供やアドバイスを求められる機会が着実に増えております。

当行では、こうした状況を踏まえて、昨年4月にスタートさせた中期経営計画で「コンサルティング機能の発揮」を活動のメインテーマに据えて、お客さまが抱える課題やニーズを起点に、その解決を通じて収益に繋げるビジネスの強化に取り組んでおります。同時に、お客さまと接する場としての店舗を「1人でも多く、1分でも長く、お客さまとお話するための拠点へ」変革する諸施策を進めております。

こうした取り組みとともに、京都銀行グループ各社との連携のもと総合金融サービスをご提供することで、「お客さまの期待に応える京都銀行」として揺るぎない経営基盤を構築し、厳しい環境の中にあっても、地域とともに歩み、地域とともに成長してまいりたいと思っております。

みなさまにおかれましては、今後とも格別のご支援、ご愛顧を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成30年6月

取締役頭取 **土井 伸宏**

## □ 目 次

ごあいさつ	P.1	法人・個人事業主のお客さまへの取り組み	P.9
第6次中期経営計画	P.2	業績ハイライト	P.11
トピックス	P.3	店舗ネットワーク	P.12
地域のみなさまとともに	P.5	株式の状況・ご案内	P.13
個人のお客さまへの取り組み	P.7	プロフィール	P.14